

全国知事会 会長メッセージ



全国知事会長に令和3年9月3日に就任いたしました鳥取県知事の平井伸治です。新型コロナの爆発的感染や災害など未曾有の逆境での船出ですが、重責を果たすべく一身を捧げてまいります。

我が国は、新型コロナが猛威をふるう「国難」の中にあり、我々47人の知事は、国民の命と健康を守るため、国や各種団体、国民の皆様と連帯し、総力を挙げて闘い抜く決意であります。

これからの2年。我が国も地方も正念場です。「コロナと闘い、新たな日本とふるさとを創る」をテーマに掲げ、「多様性と活力と安らぎをもたらす輝く未来へ」扉を開いていくべく、全国知事会は次の3項目を重点に新時代を拓くチャレンジを果たしてまいります。

第一に「未曾有の危機に挑む」です。

デルタ株のまん延でかつてない爆発的感染となった新型コロナにより、大都市部から全国各地へと命と健康が危険にさらされる未曾有の危機に陥りました。私たちはこの危機を克服しなければなりません。また、相次ぐ自然災害や地球温暖化、コロナ禍において高まる生活困難、更には地域の活力低下や少子高齢化など、かつてない厳しい課題が同時に襲い掛かっています。輻輳する危機を打開する壮大な挑戦に、総力を結集してまいります。

第二に「コロナ後の新たな時代を創る」です。

ペストの後にはルネッサンスが、スペイン風邪後アメリカでは空前の好景気やジャズの大衆音楽化がもたらされました。パンデミック後に必ずしも暗黒の時代が続くものではありません。コロナ後の新たな時代を構想し、豊かさと安らぎを取り戻す時代へ始動する時です。ポストコロナの復興にも通じる地方創生を推し進め、産業や雇用の振興、バリアフリー社会、脱炭素社会などへの道を切り拓いてまいります。そして、デジタル社会を推進し、将来世代の育成など、この国と地方の未来を創造してまいります。

第三に「現場主義と連帯で貢献する」です。

これらの挑戦を果たしていくためにも、全国知事会の改革を進めます。現場を抱える知事だからこそ、現場主義で課題に当たります。我々が連帯することで、現下の困難を乗り越える力になるはずで、新型コロナ対策では関係大臣などと度重ねて折衝するなど国・地方連携強化が進みましたが、更に地方分権により地方発の政策づくりや政策実現を目指します。また、新型コロナや災害等に対処しタイムリーに意思決定を行うため、テレビ会議方式の知事会活動を展開するとともに、政府のみならず、経済団体や日本医師会など各種団体との協働に着手することとし、日本の総力で突き進むプラットフォームを築きます。

「できるだけ多くの人に、できるだけ多くの幸福を与えるよう行動するのが、我々の義務である」

明治維新後の日本に貢献した渋沢栄一のこの言葉を胸に、コロナ禍の「未曾有の危機」にあるこの国と地域社会を守り立て直していくため、全国知事会は、国民の皆様、国、市町村、各種団体とともに、全身全霊を込めてチャレンジしてまいります。「共にたたかう知事会」として、皆様と新たな時代を拓く航海へと乗り出します。私自身、時代を変える一つの「触媒」となり、同志の知事とともに全力で邁進してまいります。皆様のご理解、ご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

全国知事会会長 **平井伸治**